

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	株式会社 ポテトデリカ					
代表者名	氏名	齊藤 真寛	役職名	代表取締役		
主たる事務所の所在地	〒399-8302 長野県安曇野市穂高北穂高2595番地1					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	各種惣菜					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	3,039	2,948	3,049	3,177	3,166
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	5,681	5,511	5,697	5,936	5,915
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	0
自動車の台数	台	3		3	3	3
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	8				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度	計画期間	2020	年度～	2022	年度
報告対象年度	2022	年度					

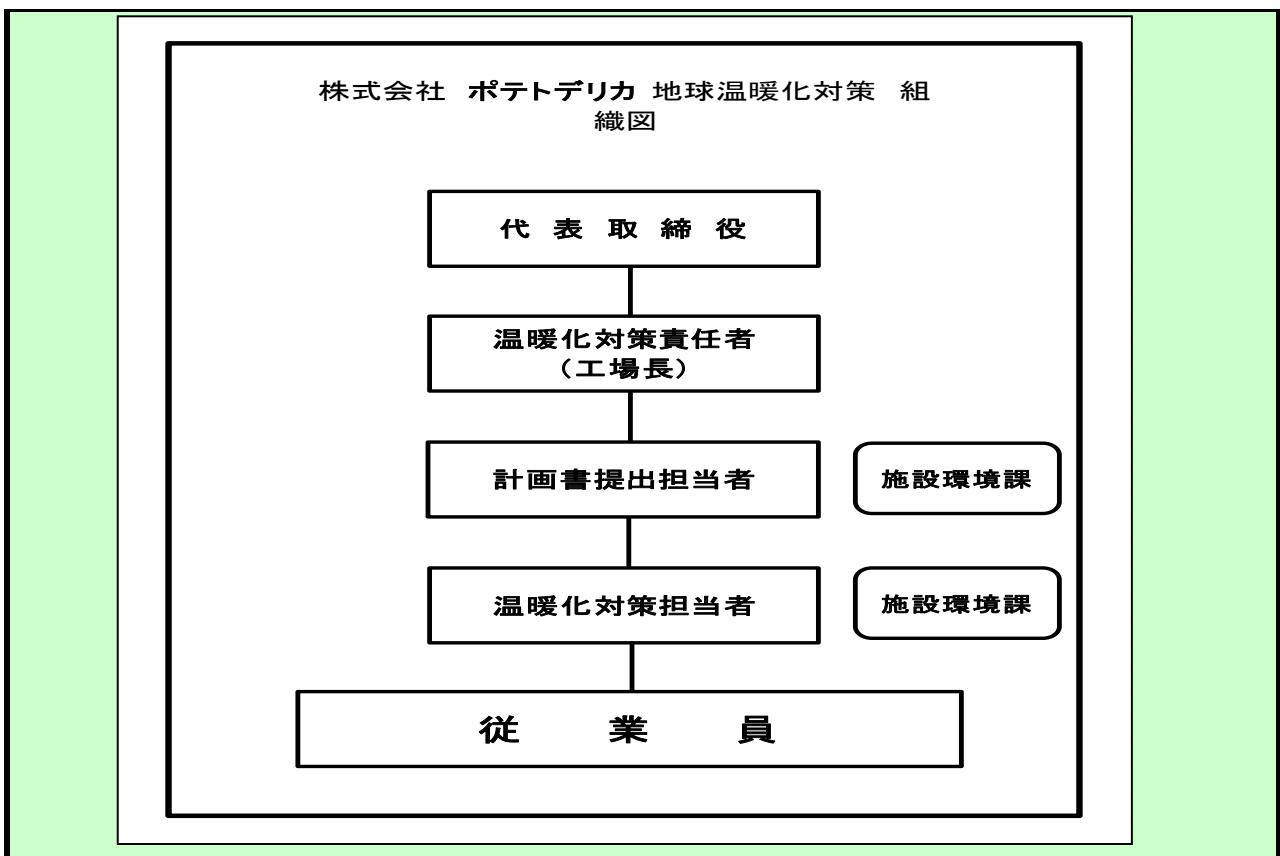
3 計画書（報告書）の公表方法等

<input type="checkbox"/>	ホームページ	・閲覧場所 食堂掲示板 閲覧可能時間 9:00～17:00 連絡先 総務人事課 (TEL 0263-81-0001)
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

地球温暖化防止は人類共通の課題です。キューピーグループでは地球温暖化の原因となるCO2排出量の削減のため、省エネルギーや燃料転換などに積極的に取り組んでおり、製造工程での効率改善、設備の導入などによる省エネルギーを進めています。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

会議体名称 : 省エネルギー推進委員会 (1回/月)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	5,681	t-CO ₂	生産量	16.05	単位	千/t
2019年度	調整後排出量	5,681	t-CO ₂	基準原単位	353.96	t-CO ₂ /	千/t
目標年度	目標排出量	5,511	t-CO ₂	目標原単位	343.34	t-CO ₂ /	千/t
2022年度	目標削減率	3.00	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	3年間で3%の削減目標を達成するとともに、ピークカットの取り組みを進める						
第一年度	排出量	5,697	t-CO ₂	生産量	15.21	単位	千/t
	削減率	-0.29	%	原単位	374.51	t-CO ₂ /	千/t
2020年度	調整後排出量	5,697	t-CO ₂	原単位削減率	-5.81	%	
	削減率	-0.29	%				
排出量等の増減理由	新型コロナウイルスの拡散により、小物でライフサイクルの短い(2日・200g)商品は伸びましたが、大物でライフサイクルの長い(1か月・2kg)商品は減少しました。結果としてエネルギーは去年同様でしたが、生産数量が5%減少し、原単位は6%上昇しました。						
第二年度	排出量	5,936	t-CO ₂	生産量	16.21	単位	千/t
	削減率	-4.49	%	原単位	366.10	t-CO ₂ /	千/t
2021年度	調整後排出量	5,936	t-CO ₂	原単位削減率	-3.43	%	
	削減率	-4.49	%				
排出量等の増減理由	大物惣菜減少対策はホテル等の減少をお弁当等宅配可能店へのシフト化実施。小物惣菜対策として、スーパー・コンビニ店舗数を増やした。原油換算値は104%増大したが、生産量も107%増大し、原単位は98%になった						
第三年度	排出量	5,915	t-CO ₂	生産量	15.54	単位	千/t
	削減率	-4.12	t-CO ₂	原単位	380.56	t-CO ₂ /	千/t
2022年度	調整後排出量	5,915	t-CO ₂	原単位削減率	-7.52	%	
	削減率	-4.12	%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由	大物惣菜減少対策はホテル等の減少をお弁当等宅配可能店へのシフト化実施。小物惣菜対策として、スーパー・コンビニ店舗数を増やした。原油換算値は100%で変わらないが、生産量が96%に減少し、結果原単位は104%に増加した。						

様式1号
(総括票)

6の2エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	8	t-CO ₂	基準原単位	単位	
2019 年度					t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /
2022 年度	目標削減率		%	目標削減率		%
目標設定に関する説明						
第一年度	排出量		t-CO ₂	原単位	単位	
2020 年度	削減率		%	原単位削減率	t-CO ₂ /	%
排出量等の増減理由						
第二年度	排出量		t-CO ₂	原単位	単位	
2021 年度	削減率		%	原単位削減率	t-CO ₂ /	%
排出量等の増減理由						
第三年度	排出量		t-CO ₂	原単位	単位	
2022 年度	削減率		%	原単位削減率	t-CO ₂ /	%
目標の達成状況及び排出量の増減理由						

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320351	スチームトラップ・減圧弁の交換・適正圧力調整	2020～2022	2.6	2020～2021	2
2	エネ起	329999	回転機器のインバーター取り付け強化	2020～2021	8	2020～2021	2
3	エネ起	380752	蛍光灯照明のLED化	2020～2021	4	2020～2021	2
4	エネ起	360703	バキュームポンプのインバーター制御	2020～2022	5	2022	5
5	エネ起	330208	老朽空調機・冷凍機の更新	2020～2022	6	2020～2021	2
6	エネ起	330202	空調機のデマンド制御	2020～2022	1		
7	エネ起	360701	曝気ポンプのインバーター制御			2020～2021	2
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績

(所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上	1	5,681	1	5,697	1	5,936	1	5,915
1,500k1以上 3,000k1未満								
1,500k1未満								
合計	1	5,681	1	5,697	1	5,936	1	5,915

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績

(t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	0
CH ₄	0	0	0	0
N ₂ O	0	0	0	0
HFC	0	0	0	0
PFC	0	0	0	0
SF ₆	0	0	0	0
NF ₃	0	0	0	0
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況

(台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車	2	2	2	2
電気自動車	0	0	0	0
燃料電池自動車	0	0	0	0
クリーンディーゼル自動車	0	0	0	0
その他 (ハイブリッド等)	1	1	1	1
合計	3	3	3	3
自動車総数	3	3	3	3
次世代車導入割合	100	100	100	100

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	出張は公共交通機関を利用する(回数券準備)
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	輸送手段は親会社の物流幹線を利用している

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		2022
<input type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		
	名称		
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	液体養豚飼料の生産設備導入により、廃棄物の削減を2016年度より実施		2016

1.5 自由記載欄

<p>①液体養豚飼料の生産設備導入により、廃棄物の削減(2022年度3219t)の実施</p> <p>②SDGs目標7対応案 太陽光発電の導入を検討</p>
--